

特殊詐欺にご用心！

最近の特殊詐欺は「ニセ警察詐欺」が被害全体の約7割を占めており、スマートフォンやSNS、ビデオ通話を悪用するなど、高齢者だけではなく、若い世代もターゲットとなっています。

今回は、特殊詐欺の被害を防ぐため、特に注意していただきたいポイントを3つ紹介します。

■固定電話だけではなく「スマートフォンへの着信」にも警戒する

▶「+」から始まる国際電話番号には出ない

海外からの国際電話番号（例：+1、+44など）を悪用した架空料金請求やニセ警察詐欺が急増しています。心当たりのない国際電話番号には出ず、無視しましょう。

▶「非通知」や「知らない番号」からの着信は一度スルーする

留守番電話や通話の自動録音機能を活用し、まずは相手の用件を確認してから折り返す習慣をつけましょう。

■「画面越しの演出」や「公的機関を装った手口」に騙されない

▶ビデオ通話で見せられる「警察手帳」などを信じない

ビデオ通話などで、偽の制服、警察手帳、逮捕状を見せて信用させる「ニセ警察詐欺」が多発しています。本物の警察官がLINEなどで取り調べを行ったり、資産状況の確認を行うことは絶対にありません。



▶「マネーロンダリングの容疑」と言われたら詐欺を疑う

「あなたの口座が犯罪（マネーロンダリングなど）に悪用されています」「身の潔白を証明するため、指定した口座へお金を移してください」などと言われたら詐欺です。

■ネット上の「甘い誘惑」と「偽の警告」を遮断する

▶SNSの「著名人を装った投資話」や「ロマンス詐欺」を信じない

SNSで著名人の写真を使った投資話やマッチングアプリで知り合った相手から「二人の将来のため」などと言って投資を勧められたら詐欺です。



▶画面に表示される「ウイルス感染」の警告が表示されても電話しない

突然、パソコンやスマートフォンの画面に「ウイルスに感染しました。こちらに電話を」と表示されるサポート詐欺も依然として多発しています。表示された電話番号には絶対に電話せず、画面を閉じるかブラウザを終了してください。

不審者や不審車両を見かけたら

警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎ 0144 35 0110

追分駐在所 ☎ 25 2003

安平駐在所 ☎ 23 2339

早来駐在所 ☎ 22 2030

遠浅駐在所 ☎ 22 2211

役場総務課 ☎ 22 2511